



港 防災だより

No.31

2021年(令和3年)3月20日

発行人/四日市市港地区自主防災組織連絡協議会 会長 家城 宏光

『港 防災だより』について

港地区には、防災を考えるうえで多種多様な問題が存在しております。(例:埋立地(地震に弱い)、海岸線(津波に弱い)、臨海コンビナーに近接、住民の高齢化)これらの問題に対処して行く為に重要なことは、住民/企業/行政の相互理解とそれに基づく活動であります。そのためには、日頃、この三者が防災に対する情報を共有し、活動することが重要であり、その一助としてこの防災だよりを発行しております。

港地区「家具転倒防止金具」取り付け

令和3年2月7日(日)

令和3年3月7日(日)

【施工:港第二市民防災隊】川嶋欣仁班長&嶋田武文隊員(豊田隊長・加藤本部指令)

【サポート:港地区】家城連合・自主防会長・齋藤地域MGR

【家具固定】実施までの流れ

令和2年度の「港地区 総合防災訓練」は、残念ながら実施されませんでした。代わりに「防災に関するアンケート」を港地区の皆さまに配布しました。

アンケートの項目で「2. あなたの家庭では家具や大型家電の固定をしていますか?」の問いで「いいえ」と答えられた方の中で【家具の固定をご希望ですか?】の欄で【はい】と記入された方に今回、港地区自主防災組織の取組みとして港第二市民防災隊が実施したものです。一日では完了出来なかったため、二日間に分けて各町の巡回となりました。

「固定金具」は、港地区自主防災組織で購入して頂き、施工費用は「港第二市民防災隊」が無料で行いました。

「家具固定」は命を守る
一番身近な地震対策!

希望者宅訪問



固定金具の記録



固定金具の取付け



固定金具の取付け



固定ワイヤーの準備



施工後のサイン



家具固定施工; 固定金具取付け

港第二市民防災隊の施工となっていますが、室内作業での配慮により、4名で実施しました。内容は、川嶋班長・嶋田隊員が施工し、豊田隊長・加藤本部指令は補助作業にあたりました。各家庭では、家具の置き場所・部屋の構造等の条件が違っているので家具の移動・壁面への部材取付け(固定金具を取付ける為の土台)など手間の掛かる事もありましたが、ケガなどもなく無事に完了することが出来ました。なにより次のお宅への道順を案内していただいたことで、移動等がスムーズに行えました。施工にお伺いしました各家庭の方々、温かいお言葉を掛けて頂き、とても励みになりました。又、各自治会長様、各家庭へのお声掛け有り難うございました。

各町の施工件数
浜町一区...2件
蔵町...1件
相生町...4件
北納屋町...2件
中納屋町...1件
南納屋町...1件
高砂町...3件
千歳町...1件
合計 8町・15件

使用した固定金具(施工後)のいろいろ



お断り;今回施工した家具固定は、絶対に倒れない訳ではありません!
大地震の時は、倒れるまでの時間稼ぎと思って身の安全を確保して下さい!

鈴鹿市久間田地区との防災交流会

令和2年11月28日(土) 9:30
社協会議室 & 高砂町⇒尾上町

【久間田地区 参加者】 久間田地区づくり協議会 12名、鈴鹿市久間田地区市民センター職員 1名

【港地区 参加者】 家城連合・自主防会長、加藤防災副会長、清原連合副会長、藤村連合副会長、齋藤地域MGR

社協会議室；港地区取組み説明・質疑応答・意見交換

今回は、お隣の鈴鹿市久間田地区より「防災交流会」の依頼がありました。久間田地区は四日市市との市境に隣接していて、内陸部の地域です。当初、7月時点での「交流会」の参加人数は25名程度の予定でしたが、「コロナ感染」の状況下もあり、13名に調整されての出席人数となり開催されました。

はじめに両地区会長のあいさつから始まり、「港地区の取組み」をスクリーンで紹介しました。加藤防災副会長が進行・説明し各項目の要所(詳細説明)は、家城会長、清原・藤村連合副会長及び地域MGRが行い、港地区の出席者が全員それぞれ分担して発言が出来る場を持ちました。

質疑応答では久間田地区の皆さんが活発な質問・意見などを出されて充実した内容の意見交換になりました。

以下が主な質問内容です。

- ・グループ別訓練について… 防災連携企業のグループ分けはどのようにしているのか？
- ・リーダー養成訓練について… リーダーをどのように選び、リーダーの養成をどのようにしているのか？
- ・港地区の災害について… 港地区は大変危険を伴う地区であると思う。台風等で避難者はいるか？
- ・ほかに… 訓練内容・防災予算・備蓄品・「港地区 防災マニュアル」・連携企業について、などの内容がありました。

※ 特に他地区には無い、港地区独自の訓練及び企業連携には興味を持たれていました。



港地区 案内；旧四日市港・潮吹き防波堤見学・プロムナード・防潮扉 開閉体験

恒例の港地区観光？です。

家城会長と清原連合副会長がバスに同乗して、製油所・運河を周って「港地区の地理的環境」を久間田地区の皆さまに説明を兼ねて見ていただきました。(加藤・藤村・齋藤は、先回りして旧四日市港で待機)

旧四日市港では「潮吹き防波堤」と「潮吹き防波堤レプリカ」を見学して頂きました。(残念ながらレプリカは故障中！)

その後、千歳運河に沿ってプロムナードを歩き「尾上町 防潮扉 No.195」で、防潮扉の開閉の実演説明を行いました。また、久間田地区の方にも「防潮扉の開閉」を指導監視の下で体験して頂きました。久間田地区には防潮扉が無いので、皆さまが大変にぎやかに楽しそうに積極的に学習されてました。お一人の方が「俺もこれで、防潮扉は閉めれると人前で言える」と笑顔で自信満々で言われていたのが印象的でした！

最後に、満面の笑みをさせてた久間田地区の皆さまのバスを全員でお見送りして「防災交流会」を終了しました。

※ 久間田地区の皆さまより「楽しい交流会で大変、勉強になった」とのお言葉をいただきました！

※ 今までに來られた方々は、【海が無い地域】の為、「海ぎわを歩く」と「防潮扉」に興味がある事のようにです。



令和2年度 ; グループ別 防災訓練

実施日 ; 令和3年2月28日(日)

第一部 ; 10:00~

第二部 ; 13:00~

「避難所としての体育館における置換換気見学会」

毎年、グループ別で地元企業様からの発案により自治会長と内容を検討して実施している「グループ別 防災訓練」ですが、令和2年度は趣向を変えて【港地区 全体で一つのテーマ】に取り組みました。内容は見出しにありますように「**体育館で避難所生活をする場合、空気の淀みを解消するために置換換気が必要**」ということで「感染症対策」「夏場の熱のこもり(熱中症)」などの対応策として「防災一座」の方に来て頂き講義を含む見学会としました。「コロナ感染」の状況下で多人数での参加は不可の為、各町で数名と企業の方及び港第二市民防災隊の参加で午前と午後の2部構成で行い、前半はスクリーンでの講義(大学での空気の流れの実験映像・NHKの特番映像・イタリアの避難所取組み)及び置換換気の必要性と装置の説明で、後半は装置の実動体験となり最後に質疑応答で終了しました。

《午前の部 ; 参加人数》

稲葉町 4名、北納屋町 6名、浜町一区 6名、浜町二区 5名、千歳町 5名、尾上町 2名、港第二市民防災隊 12名、連携企業様 12名、役員&地域マネージャー 5名。

《午後の部 ; 参加人数》

中納屋町 6名、蔵町 5名、相生町 5名、南納屋町 9名、西末広町 2名、高砂町 7名、港第二市民防災隊 4名、連携企業様 4名、役員&地域マネージャー 5名。

【前日準備 ; 参加者 6名 ※準備に参加された方、ご足労をお掛けしました。有り難うございました。】

置換換気見学会 ; 風景



防災一座 ; 代表 松野さん



送風機の防音対策



ビニールダクト ; 送風側



ビニールダクト ; 末端側



排気用ダクト
&
送風機



四日市市洪水ハザードマップ・防災カルテ ワークショップに参加しました

令和2年12月13日(土)

令和3年 1月17日(土)

四日市市総合会館

令和2年12月13日に、四日市市総合会館研修室で港地区防災運営委員会他消防関係者などが参加して、四日市市洪水ハザードマップ・防災カルテの第1回ワークショップが開催されました。



参加者から過去の水害状況、ハザードマップの改善点など、いろいろなアイデアをアドバイザーの協力でまとめていただきました。
令和3年1月17日に第2回ワークショップでは、第1回の改善点を反映されたハザードマップの確認などを行いました。



令和3年度中に『四日市市洪水ハザードマップ』が全戸に配布される予定です。

■ 各種総会・会議・説明会等について

◇コスモ石油株式会社四日市製油所定期整備【令和2年9月6日（日）～令和2年12月8日（火）】
以下の会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

◇第14回四日市石油コンビナート沿岸地域防災連携会議【令和3年1月13日（水）】➡ 中止

◇港地区パイプライン協議会【令和3年3月】➡ 中止

（東ソー株式会社四日市事業所、三菱ケミカル株式会社、コスモ石油株式会社四日市製油所）

■ 防災運営委員会

現在、防災運営委員会では、9月に港地区全世帯にご協力いただいた、防災アンケートの集計結果を分析しています。この分析結果から、防災の啓発として、日頃の備えや、避難する時に気を付けたいことなど、港地区の防災に必要なことを、みなさまにわかりやすくお伝えできるような紙面を作成・配布します。

また、コロナ禍の中で港地区防災運営委員会へのグループ長企業様の参画が難しいのが現状ですが、会議録をグループ長企業様へお送りし、連携企業様との情報共有を図っています。

■ 「みえの防災活動事例集」に港地区が掲載されました！

令和3年2月22日に「三重県防災対策部」より、《みえの防災活動事例集》が届きました。

概要は、昨年の8月に【「みえの防災大賞」大賞受賞団体へのアンケートについて】の依頼があり、今までの大賞受賞団体が、今年度は各地域「コロナ感染」下でどのように活動したか等アンケートの質問に沿って、回答・対応・意見を記入し送付したものです。港地区としては、現状のままをアンケートに記入しました。三重県が記者発表をした後の2月9日に「NHK」から取材の申し出があり、加藤防災副会長が【福祉と防災が一体化したまちづくり、防災運営委員会に企業も出席、訓練中止で「防災アンケート」に代替え実施、希望者に家具の固定を無償で施工など…】を、紹介しました。

清原連合副会長より、2月22日「TVで放映していた」との報告がありました。

■ おしらせ

令和3年2月8日（月）コスモ石油株式会社四日市製油所様より、エアマット（100セット）を、港地区自主防災組織連絡協議会へ寄贈していただきました。エアマットは避難時に使えるマットで、保温効果とクッション性があり、避難所での寒さや床の固さから体を守ります。

大規模災害時だけでなく、台風避難等の際にも活用させていただきます。ありがとうございました。

◆港地区 自治会／企業代表者会議 ➡ 中止（書面決議）

◆港地区自主防災組織連絡協議会 総会 【令和3年6月6日（日）】予定
（新型コロナウイルスの感染状況によっては書面決議になる場合があります。）

《防災運営委員会》 《自治会長》 《防災隊長》

家城 宏光	大野 正司	糸内 寿子
大橋 洋	大橋 洋	近藤 誠
加藤 亘	加藤 和博	鈴木 英明
清原 茂	川喜田 妙子	堤 利臣
堤 利臣	清原 茂	春木 秀茂
豊田 成彦	寺井 勝	平野 高志
藤村 まさみ	濱野 元英	藤村 洋平
水谷 哲	藤村 まさみ	水谷 哲
吉田 耕太郎	町田 光夫	山本 慶太郎
吉田 泰宣	松田 裕文	横井 輝重
	松野 郁雄	
	吉田 耕太郎	（五十音順）

《防災連携企業》

石井燃商(株)	伊勢湾倉庫(株)	(株)エネックス	おのえ作業所
風薫会	協同海運(株)	九鬼産業(株)	九鬼肥料工業(株)
コスモ石油(株)	佐藤クリニック	三エスゴム(株)	JSR(株)
昭和電工ガスプロダクツ(株)	住友電装(株)	第一工業製薬(株)	
大成建設(株)	大宗建設(株)	太平洋セメント(株)	
高砂建設(株)	中部海運(株)	中部電力ミライズ(株)	
中日本建設(株)	東ソー(株)	東邦ガス(株)	東陽興業(株)
日本板硝子(株)	日本海事検定協会	日本カニゼン(株)	
日本貨物鉄道(株)	日本通運(株)	日本トランスシティ(株)	
(株)ニヤクコーポレーション	林興業(株)	三菱ケミカル(株)	
四日市海運(株)	四日市電機(株)	四日市港郵便局	（五十音順）